

# 北東アジア動向分析

## 中国（東北三省）

2006年から2007年1 - 3月期の東北経済 - 吉林省の成長が全国3位に

加熱気味とされた2006年の中国経済に引き続き、2007年1 - 3月期の成長率は前年同期比で11.1%増に達した。総額では5兆287億元となり、第2次産業が13.2%増（シェア50.8%）と突出、過去10年の間で最も伸び幅が大きく、再び高まる加熱リスクに中国政府は警戒感を強めている。

東北三省の経済成長について、2006年では遼寧省が13.8%増で1994年以来最大の伸び率に達したほか、吉林省の躍進が目覚しく全国第3位の14.5%増となった。黒龍江省でも5年連続の2桁成長となり、12.0%増を達成し、そのうち石油加工、設備機械、石炭、製鉄、セメント、飲料等の業種では20%以上の伸びとなった。2007年1 - 3月期も三省の成長率は概ね同様に推移している。

中国全体の固定資産投資は、2006年で24.0%増だったが、2007年1 - 3月期は23.7%増となり僅かではあるが減少する方向にある。しかし、東北部（2006年）では遼寧省が34.8%増、吉林省に至っては全国第1位の55.4%増、黒龍江省は29.1%増と平均水準を大きく引き離し、東北振興政策による内陸部への大規模投資が顕著となっていることがうかがえる。

消費の成長を示す社会消費品小売総額は、中国全体が2006年で13.7%増と前年よりも8ポイント上回ったが、投資や輸出の伸びに比較して低い水準で、経済発展を牽引する主力とはならなかった。不安定な社会保障システムや不動産相場などが内需拡大を妨げているとされていたが、2007年1 - 3月期は春節の大型連休があり、パソコンなど電子機器を中心に需要が活性化、14.9%増となった。東北三省でも消費は旺盛で、吉林省の1 - 3月期では前年同期よりも5.9ポイント増えた。

輸出入貿易に関しては、2007年に入って輸出増徴税の還付率引下げなどの抑制策が効き、3月の輸出超過額は前月に比べ169億ドルの減少となり、貿易黒字の是正に向けて動き出した。また、高まる電力需要に対応したエネルギー源確保のため石炭輸出も急速に減り、1 - 3月期では1,040万トン（前年同期比32.0%減）となった。逆に国外からの輸入は1,430万トン（同60.0%増）と急増した。

東北部では従来黒龍江省の発展が著しかったが、2007年

1 - 2月期では輸出入とも減速している。輸入品は主に原木、原油、鋼材などが中心だが、生産国の輸出引き締めやロシアによる貿易管理の強化などが背景となっている。

また、吉林省では自動車、鉄鋼、化繊等の大手輸出企業で大幅な輸出増があったほか、2007年1 - 3月期は輸出において民営企業が127.6%、外資系企業が25.2%の伸びを示し、同期成長率は輸出が55.9%で全国第2位、輸入が27.9%となっている。

以上のように成長面では全国平均を上回り著しく発展している東北三省ではあるが、産業構造がエネルギー生産や重工業に偏重し、制度改革中ではあるが国有企業の比率が高いこと、全国平均と比べて低い貿易額や外資導入額、高い失業率の問題など、中国経済全体が過渡期にある中で解決が必要とされる課題は少なくない。

### 動き出した中国高速鉄道

4月18日から中国鉄道第6次スピードアップ（中国では「提速」と呼ぶ）が全国で展開され、この中で高速車両による運行が始まった。これらの列車は「子彈頭」「和諧（調和）の意」号」という愛称で呼ばれ、編成上は中国語の「動車組（動力分散式車両）」の頭文字を取って、「D」から始まる列車番号が付けられている。営業運転速度は時速160～250キロで、北京を起点に瀋陽までを約4時間、長春までを約6時間、ハルビンまでを約8時間で結ぶ。従来の利便性からみれば急行が突然新幹線に変わったような画期的な出来事であるが、実際中国で「国産」と報道されている車両は、日本、カナダ、フランス企業からの技術移転に改良を加えて作られた。

日本の東北新幹線「はやて」をベースとした車両はCRH 2型といい、青島が生産基地となっている。吉林省の長春軌道客車公司ではフランス・アルストム社からの技術に基づくCRH 5型が東北の厳寒にも耐えられるよう設計・製造されている。

筆者は運転開始日に天津からのD536に乗り北京へ行ったが、感覚としては日本の新幹線と同じだった。ただし、運賃が従来の倍近くに上がったため利用者は多くなく、全く無人の車両もあった。今後はサービスの向上とともに、市場に見合った料金設定も望まれる。

（ERINA調査研究部研究主任 筑波昌之）

	2004年				2005年				2006年				2007年1 - 3月				
	中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江	
GDP成長率	%	9.5	12.8	12.2	11.7	9.9	12.3	12.0	11.6	10.7	13.8	14.5	12.0	11.1	13.7	16.0	11.6
工業総生産伸び率（付加価値額）	%	16.7	23.4	18.6	13.0	16.4	20.1	11.0	15.3	12.5	20.0	18.5	15.2	18.3	19.5	23.6	15.0
固定資産投資伸び率	%	25.8	43.1	20.9	22.1	25.7	40.1	53.8	25.4	23.7	34.8	55.4	29.1	23.7	15.6	-	25.1
社会消費品小売額伸び率	%	13.3	13.4	12.8	13.0	12.9	13.5	13.5	13.0	13.7	14.5	14.7	13.5	14.9	35.3	19.1	15.4
輸出入収支	億ドル	320.0	34.0	33.6	5.7	1,019.0	58.7	15.9	25.7	1,774.7	82.5	19.2	40.2	464.6	18.1	5.6	2.6
輸出伸び率	%	35.4	29.8	21.4	28.1	28.4	23.9	43.9	64.9	27.2	20.8	21.5	38.9	27.8	30.5	55.9	19.2
輸入伸び率	%	36.0	30.1	28.0	26.7	17.6	13.4	20.0	12.6	20.0	14.2	21.1	26.3	18.2	26.0	27.9	13.1

（注）前年同期比

鉱工業生産伸び率は国有企業及び年間販売収入500万元以上の非国有企業の合計のみ。

固定資産投資伸び率は中国における社会全体の数値。

黒龍江省の輸出入収支、輸出伸び率、輸入伸び率は1 - 2月期数値。

（出所）中国国家统计局、各省統計局、商務部、各種新聞報道等より作成。